

桜陽高校だより

VUCAの時代に生きる

北海道小樽桜陽高等学校長 山内章裕



(校訓)

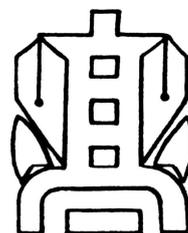
賢く 強く 豊かに

(学校教育目標)

- (1) 研学に努め、知性を錬磨する。
- (2) 環境を整え、公共心を涵養する。
- (3) 責任を重んじ、道義心を涵養する。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。二〇二〇年の一月にはじまる新型コロナウイルスパンデミックで、卒業生の皆さんはどの世代も経験したことがない中学校時代を過ごし、桜陽高校での三年間の高校生生活を終え、新たな進路に向かわれます。こうした中でお子様を支えられてきた保護者の皆様には並々ならぬ苦勞があり、それを乗り越えてこられたことに敬意を表します。また、PTA活動並びに学校行事など本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、私たちがコロナ禍に経験した



第110号

令和7年

3月1日発行

目次

- p1 学校長
- p2 3年次
- p3 2年次
- p4~8 部活動報告

ことは、マスク着用と手指消毒の徹底、緊急事態宣言により学校が臨時休校になり、オンライン授業が行われ（働く人はオンライン会議や在宅勤務）、授業でのタブレットの活用が進み、考えていなかったことや、見通しの立たないことが次々と起き、ICTの活用などがこれまでにないスピードで社会に浸透した三年弱だったと思います。こうした時代はVUCAの時代だと呼ばれます。VUCAとは、「Volatility（変動性）」、「Uncertainty（不確実性）」、「Complexity（複雑性）」、「Ambiguity（曖昧性）」の頭文字をとったもので、この後もこのような時代が続くと考えられています。コロナ禍を生きた卒業生の皆さんはその経験を

につなげ、柔軟に対応する（レジリエンス）力を培い、社会の中で生き抜いて行ってくれていることを期待しています。

次に、これからの時代に生きる上で身につけたい資質能力の一つ、ネットリテラシーについてお伝えいたします。

○ ネットリテラシー

ネットリテラシーとは、インターネットを正しく使うための資質能力のことを言います。高校ではこれまで情報の授業を含め、多くのことを指導しておりますが、世の中には、SNSへの不適切な投稿等で失敗している人がまだまだたくさんいます。ネット上では匿名で表現できることから、安易に投稿していることが原因です。何が正しいのか、どこ

・課題の発見）、自分の判断や行動

まで許されるか等の判断基準が曖昧だったたり、判断の甘さにより、不適切な書き込みや、画像などの掲載、誹謗・中傷が後を立ちません。では、ネットリテラシーはもとより、私たちが行動する上で、判断の基準とすべきものは何でしょうか？皆さんそれぞれお持ちだと思えます。私は、**単純に名前と顔を出すことができないか否か**だと考えています。SNSでは自分の名前と顔を出して表現することができ、恥ずかしい行いではないと自分で判断できること以外は投稿しないと自分でルールづくりをすれば、問題はかなり減少すると考えています。ネットリテラシーがな

いために、大人でも失敗し、職を失う人さえいます。

少し具体的な内容になりましたが、卒業する皆さんは、これから社会の中で周りから教えてもらえる機会が少なくなるだろうという思いから、ネットリテラシーについてお伝えさせていただきました。

次に卒業生に贈る言葉として、英語

学習で上智大学名誉教授だった渡部昇

一（一九三〇―二〇一七）さんの言葉

を紹介します。彼は「人は心底尊敬し

た人物から知らず知らずのうちに多く

のものを学ぶ。学生でも偉い先生を心

から尊敬している者は器量がどんどん

大きくなる。しかし、先生を批判した

り表面的に奉っているだけとなると成

長が止まる」と言っています。卒業後

も尊敬する人物、この人から学びたい

と思う同僚・友人などロールモデルを

自分の中に持ち、皆さんが成長し続け

ることを祈念しております

結びに、保護者の皆様には、令和六

年度の本校の教育活動への深い御理解

とご協力を改めて感謝申し上げます。

また、本校は、引き続きこれからの社

会を生き抜く生徒の育成に向け教育活

動を推進して参りますので、より一層

の御理解と御協力を賜りますようお願い

致します。

「眼をはなて涯遠く・・・」

三年次主任 宮澤 正行

見上げないことがありますか。（必ず見上げますよね。）と解釈できま

す。北極星は、地球の自転軸の北側の

先にある星です。夜空の星の中でも位

置を変えないため、夜の方角を知る目

印として古くから利用されてきまし

た。進むべき方向を指し示すものです。

少し飛躍した解釈かもしれませんが、

この校歌三番の最初と最後を合わせる

と、「遠い未来を見据えて生涯を考えて

みよう・・・高い理想を掲げ、その信

念を曲げず、目標に挑み続けよう。」と

考えられます。私は校歌を各行事で歌

うときに、このようなことを頭に思い

浮かべてきました。皆さんは、校歌育

唱の機会に何か思い浮かべることがあ

ったでしょうか。校歌というものは、

その学校のイメージを言語化してお

り、他の学校には存在しないオリジナ

リティを表現しているのだと思います。

ルなものです。桜陽高校のイメージ、そのものだと考えられます。三年間歌い続けた校歌にはこのようなメッセージがあります。頭の片隅に入れておいて頂けると幸いです。

義務教育九年間・普通科高校三年間は、ややもすれば皆で同じ授業を受け、同じテストで学力を診断され、部活動やボランティア活動など、課外活動も同じものが提供されます。意識しなくとも、他人との比較が日々、行われまです。成績が何番目であるとか、部活動においてレギュラーだとかそうでないとか、序列が決められてしまいます。しかし、高校卒業後は、皆違う道歩むこととなります。自分の人生は自分で決めるように、他者との比較で成り立つものではありません。自分の望む生き方を、自分で決めて下さい。自分の価値観を信じて、進んでほしいと思います。年を重ねることは、一見すると不自由さが増幅されるように感じられます。しかし、二十代・三十代・四

十代・五十代と年齢にあった人生の面白さがあります。ぜひ、その面白さを味わってほしいと考えます。

三年次生の皆さん、本当に、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、子育てお疲れさまでした。そして、三年間、本校の教育活動にご協力頂き、誠に感謝申し上げます。



「見学旅行を安全に実施するということ」

二年次主任 古 圭 正 信

見学旅行を実施するときに私たち教員が考えることは、「参加生徒が安全に行き、帰ってくるにはどうしたらよいか」です。生徒が楽しむことは申し訳ないけど二の次になります。そのために生徒に望んだことは、時間を守り、自ら自分たちの時間を生み出すこと。

それと、ルールを守り、一緒に行く他の生徒のことを考え、その上で楽しむこと。これだけでした。

一日目、緊張の集合時間でしたが、全員が時間通りに集合をして予定通り出発することができました。新千歳空港に到着、羽田空港を経由して、伊丹空港へ到着するまでも、キビキビと行動をして、少しではありますが自由時間を生み出していました。最初の見学地、清水寺、一昔前であれば到着し

た十七時頃であれば、人が少なくなっていました。今はインバウンドの増加により、たくさんの外国からの旅行者で混み合っていました。また、天気も雨ということもあり、肌寒い中でしたが、元氣いっぱい見学をしていました。清水の舞台は雨の中でも圧巻でした。

二日目、全員で京都・奈良の見学でした。天気は、生徒たちの普段の行いの良さのおかげでしょうか、雨が上がりました。まずは、薬師寺。ここではなんとと言っても僧侶による法話です。生徒たちにも質問をして話をさせたり、その答えにウィットに富んだ返しをしたり、その話法には私自身とても勉強になるなあと感じて聞いていました。私の今までの勤務した学校でも何度も聞きましたが、この法話で大笑い

できる(楽しめる)かどうかは、聞く人の「素直さ」にあると考えています。生徒たちは、概ね笑い、楽しんでいました。素直さは財産です。大事にしてほしいものです。

次は、奈良公園、東大寺です。ここは、ものすごい数の鹿がいます。とても人懐っこく、エサ(鹿せんべい)を持ってしているとわかるやいなや寄ってきます。寄ってきて、接触を試みてきます。もちろん、それを苦手に感じる人もいます。しかし、逆に、動物と触れ合うことが好きなのか、とても喜んで鹿と戯れている生徒もいました。ほのぼのとした気持ちにさせてもらいました。また、ガイドさんの誘導のもと、東大寺の有名な大仏を見て、奈良公園の散策をしました。歩く時間も距離も長く、疲れもありましたが、生徒たちは、ガイドさんの話をしっかりと聞いていました。ちょうどおなかもすいてきた頃、奈良公園内にある食事処でみんなでうどんを食べました。疲れもあ

り、空腹の胃に染み渡りました。その後、お土産などの買い物をして、バスに乗り込みました。

この日の最後は、嵐山での散策です。有名な渡月橋を見たり、渡ったり、それがかかる川桂川もとても風情がありました。また、竹林は、北海道の我々は全く見たことのないものでした。その中で、生徒たちは、自由時間を友人とゆばチーズなどを食べながら歩いたり、ここでもお土産の買い物をしたりと楽しんでいました。

三日目は、待ちに待った「自主研修」でした。USJに行くもの、京都の歴史的なスポットを巡るもの、大阪で食い倒れるもの^①。自分たちの計画を基に班員と協力しながら楽しんだのではないのでしょうか。帰樽後に、しっかりとした研修録を見たら、その充実ぶりがわかりました。

最終日、初日から帯同していただいた看護師の方のお別れ会のあと、大阪城へと向かいました。記念写真を撮

た後、疲れていたと思いますが、さすが若い力は違います。多くの生徒が八階の展望台まで階段で上りました。展望台から大阪を一望できました。このあとも各々が大阪城の展示を見たり、やはりここでも買い物をするなどして、最後の見学地を後にしました。小樽に着いた時の寒さは忘れられませんでした。最後まで時間を守り、自ら時間を作り、ルールを守りながらの高校生活の最大行事と呼ばれる見学旅行は終わりました。

事前に自主研修の計画を立てたのと同時に、全員で見学をする場所などを総合的な探究の時間の中で「地域探究」ということで調べて発表をしました。多くの生徒はしっかりと取り組み、立派に発表をしていました。また、その発表を聞いている生徒の姿勢もとても良かったです。その発表の内容を見学したときに少しでも思い出して、良い影響を与えていたら幸いです。

今回この旅行の企画から添乗まです

べてを取り仕切っていただいた日本旅行の方も言っていました。「生徒が素早く行動をしてくれたおかげで時間的に余裕が生まれた。話を聞く姿勢もとても良く、スムーズに旅行が進められた。助けられた場面がたくさんあった。」

と。二年次生の生徒にはそういう力を持った生徒が多くいるということではないでしょうか。

今、二年次は、自分の進路を具体的に決めて、進路実現へ向けて本格的な努力を開始した生徒も少なからずいます。進路未定の生徒も早く進路希望を具体的に決めて、動き出してほしいと声かけをさせていただいています。今までもご家庭のご協力をいただいていたのですが、これからはお子様の進路実現、人間としての成長のためにこれまでに以上に協力いただければありがたいです。残り一年間よろしく願います。

部活動大会結果（後期）

【地区大会】

【バレーボール部】

◎全日本バレーボール高等学校選手権

大会北海道代表決定戦小樽地区

予選会

【男子】

対 潮陵 2-0

対 未来創造 2-1 優勝

【女子】

対 双葉 0-2

対 未来創造 2-1

対 潮陵 2-0 準優勝

◎小樽・後志高校新人戦 バレー

ボール大会

【男子】

対 倶知安 2-1

対 潮陵 2-1

対 未来創造 1-2 準優勝

【女子】

対 潮陵 0-2

対 双葉 0-2

対 岩内・未来創造 2-0

対 倶知安 0-2 第四位

◎北海道高等学校バレーボール新人

大会 小樽地区予選

【男子】

対 潮陵 2-0

対 未来創造 2-1 優勝

【女子】

対 双葉 0-2

対 未来創造 2-0

対 潮陵 1-2 第三位

【バスケットボール部】

◎2024年度 小樽地区秋季バスケット

ボール選手権大会

【男子】

一回戦 対 明峰 97-32

【女子】

合同（桜陽・潮陵・明峰・水産・

倶知安・岩内） 対 双葉 45-85

◎第37回北海道バスケットボール

新人大会小樽地区予選会

【男子・女子】

中止

【バドミントン部】

◎小樽地区高校秋季バドミントン

選手権大会

男子ダブルス 武藤・本間

ベスト4

女子ダブルス 木田・嶋崎

ベスト8

男子シングルス 武藤

優勝

本間

ベスト8

男子団体

ベスト4

女子団体

一回戦敗退

◎小樽冬季バドミントン大会

男子ダブルス 武藤・加藤

準決勝 対 未来創造 82-66

第二位

女子ダブルス 木田・嶋崎

ベスト8

【ソフトテニス部】

◎第49回小樽支部高校新人戦

インドアソフトテニス大会

男子ダブルス 伊藤・櫻井ペア

優勝

玉橋・平野ペア

準優勝

女子ダブルス 金山・玄野ペア

優勝

森・奥名ペア

準優勝

佐々木・中川ペア

第三位

【テニス部】

◎小樽支部高等学校秋季テニス大会

団体戦

男子 第二位

女子 第二位

個人戦 ダブルス

【男子】 浦田・森

優勝

名平・野崎 第四位
 関戸・前川 優勝

個人戦 無差別級 福場 第一位

深田 三回戦敗退
 熊谷 二回戦敗退

大会
 【団体戦男子】 第三位
 【団体戦女子】 第三位
 【個人戦男子】 第二位
 【個人戦女子】 第三位

坂井杏・坂井里 第二位
 個人戦 シングルス 優勝

◎令和6年度第13回小樽地区サッカー
 新人ユース大会

村川 野崎 大竹 一回戦敗退
 女子ダブルス 優勝

本間 第二位
 菅原 第二位
 守田 第三位

浦田 優勝
 関戸 優勝

リーグ戦
 対 NSR 0-3 第三位
 対 北照B 0-3 第三位

女子シングルス 優勝
 川村 一回戦敗退

菅原 第二位
 守田 第三位

◎小樽室内シニアシングルス・

◎第36回全道U-17フットサル選手権

◎令和6年度小樽総合卓球選手権大会

◎第77回秋季北海道高等学校野球大会

ダブルス選手権大会
 シングルス

一回戦
 対 北照 2-2 PK 5-4
 二回戦

男子ダブルス 優勝
 金濱・深田 二回戦敗退

小樽支部予選
 一回戦 対 俱知安 12-4
 準決勝

浦田 優勝
 関戸 準優勝

対 NSR 1-2 第三位

女子ダブルス 優勝
 熊谷・村川 一回戦敗退
 深田・野崎 棄権

明峰・俱知安農・寿都 10-2
 代表決定戦 対 北照 6-10 準優勝

浦田・森 準優勝

対 NSR 1-2 第三位

女子シングルス 優勝
 嘉藤・川村 棄権

明峰・俱知安農・寿都 10-2
 代表決定戦 対 北照 6-10 準優勝

【柔道部】

◎高体連小樽支部秋季柔道新人戦

◎令和6年度秋季小樽支部高等学校
 新人卓球大会

熊谷 村川 深田 大竹 一回戦敗退
 野崎 棄権

◎高文連第47回放送コンテスト後志
 支部大会

団体
 個人戦 60kg級 本間 第三位
 73kg級 麻績 第一位
 柴尾 第二位
 菊地 第三位
 岡崎 第五位

男子学校対抗
 一回戦 対 潮陵 1-3

女子シングルス 優勝
 川村 二回戦敗退
 嘉藤 棄権

朗読部門 若宮 第一位
 野崎 第三位
 小松田 蔭山 参加

麻績 第一位
 柴尾 第二位
 菊地 第三位
 岡崎 第五位

男子ダブルス 優勝
 金濱・山崎 第三位
 村川・熊谷 二回戦敗退

女子シングルス 優勝
 川村 二回戦敗退
 嘉藤 棄権

朗読部門 若宮 第一位
 野崎 第三位
 小松田 蔭山 参加

菊地 第三位
 岡崎 第五位

男子シングルス 優勝
 金濱 山崎 四回戦敗退

女子シングルス 優勝
 川村 二回戦敗退
 嘉藤 棄権

朗読部門 若宮 第一位
 野崎 第三位
 小松田 蔭山 参加

金濱 山崎 四回戦敗退

男子シングルス 優勝
 金濱 山崎 四回戦敗退

女子シングルス 優勝
 川村 二回戦敗退
 嘉藤 棄権

朗読部門 若宮 第一位
 野崎 第三位
 小松田 蔭山 参加

金濱 山崎 四回戦敗退

男子シングルス 優勝
 金濱 山崎 四回戦敗退

女子シングルス 優勝
 川村 二回戦敗退
 嘉藤 棄権

朗読部門 若宮 第一位
 野崎 第三位
 小松田 蔭山 参加

【図書局】

◎令和六年度北海道高等学校文化連盟
後志支部図書専門部 図書局・委員
会交流会（研修会）

局員四名参加

【演劇部】

◎第74回北海道高等学校文化連盟後志
支部高等学校演劇発表大会

最優秀賞

【全道大会】

【バレーボール部】

【男子】

◎全日本バレーボール高等学校選手権
大会 北海道代表決定戦

一回戦 対 札幌藻岩 0-2

◎北海道高等学校バレーボール新人
大会

一回戦 対 根室 2-0

二回戦 対 北科大高 0-2

ベスト16

【バドミントン部】

◎第53回全国高等学校選抜バドミント
ン大会南北海道予選会

男子シングルス 武藤 一回戦敗退

【ソフトテニス部】

◎令和六年度 第54回北海道高校新人
ソフトテニス大会

男子ダブルス 伊藤・櫻井ペア

二回戦進出

平野・長谷川ペア

一回戦敗退

女子ダブルス 金山・玄野ペア

一回戦敗退

佐々木・中川ペア

二回戦進出

森・奥名ペア

一回戦敗退

男子シングルス 伊藤 一回戦敗退

櫻井 二回戦進出

女子シングルス 森 一回戦敗退

金山 一回戦敗退

奥名 一回戦敗退

◎令和六年度第50回北海道高等学校

新人戦ソフトテニス選手権大会

男子団体 一回戦敗退

女子団体 一回戦敗退

【テニス部】

◎北海道高等学校秋季テニス大会

【女子団体戦】

対 北星女子 0-5 一回戦敗退

【柔道部】

◎全国高等学校柔道選手権大会北海道
大会

大会

【団体戦男子三人制】 第三位

【個人戦】

男子60kg級 本間 一回戦敗退

男子73kg級 岡崎 二回戦敗退

麻績 二回戦敗退

柴尾 ベスト16

女子無差別級 福場 ベスト8

【弓道部】

◎第46回北海道高等学校弓道選抜大会

南北海道大会 兼 第43回全国高等

学校弓道選抜大会南北海道地区予選

【個人戦男子】 本間 予選敗退

【個人戦女子】 菅原 予選敗退

守田 ベスト8

【ラグビー部】

◎第77回北海道高等学校ラグビーフッ
トボール南・北選手権大会兼第104回

全国高等学校ラグビーフットボール

大会北海道予選会

対函館ラサール0-104 一回戦敗退

※小樽潮陵と合同チームを組み出場

【卓球部】

◎2024年北海道卓球選手権大会

（一般・ジュニアの部）

〓 ジュニア男子シングルス 〓

熊谷 一回戦敗退

金濱 深田 二回戦敗退

〓 男子ダブルス 〓

金濱・深田組 一回戦敗退

◎第52回北海道選抜卓球大会

〓 男子シングルス 〓

金濱 予選リーグ敗退

〓 男子ダブルス 〓

競技 SAGA202

女子舵手付きクオドルプル

柴・福土・鈴木・川田・福土

予選・敗退

敗者復活戦・敗退